

教育学演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302

必修 2単位

鎌田 和宏

1. 授業の概要(ねらい)

本演習は教育方法学の演習である。受講者と授業研究(教育内容・教育方法・授業分析)に取り組む。今期の教育学演習Ⅱでは、教育学演習Ⅰで学んだ授業研究の基本的な方法をもとにして、個々の学生による模擬授業実践とその分析、又は教育実習中の授業の分析を行う。なお、分析にあたってはグループでの協働活動、ディスカッションを行っていく。取り上げる授業については社会以外の科目についても取り上げることがある。

2. 授業の到達目標

- ・授業研究の基本的な方法を説明することができる。
- ・特定主題に基づき、授業設計・指導案作成・授業実践・授業分析を行うことができる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・平常点:90% 授業内で行う学習活動への参加、指定課題の提出(含む読書ノートの記録)等。本授業は演習科目であり、グループワークを行うので、全回出席することは基本である。
- ・レポート:10%

4. 教科書・参考文献

教科書

鹿毛正治・藤本和久編著 「授業研究」を創る 教育出版

全国SLA 『読書生活デザインノート』(2013年) 全国学校図書館協議会

参考文献

田中耕治 『よくわかる授業論』(2007年) ミネルヴァ書房

次山信男・大澤克美 『総合学習・生活科・社会科活動研究ハンドブック』(1998年) 教育出版

5. 準備学習の内容

- ・テキストを授業で逐次読む事はしないので該当すると思われる箇所を読んだ上で参加のこと。
- ・教育学演習Ⅱ・卒業研究Ⅱでは授業記録の検討が主内容となる。学習指導案、授業記録はあらかじめ読み、検討ポイントのメモやコメントの下書きなどをしておいて欲しい。また、検討では対面・オンラインでのグループワークやディスカッションの場が多く用意されている。積極的に参加・参画してもらいたい。

6. その他履修上の注意事項

- ・授業では、様々な活動や作品づくりを行う。主体的に参加し、提出物は確実に作成・提出してほしい。提出物の締め切りは厳守のこと。
- ・本講義の受講者は、読書ノートの実践に取り組んでもらう。初回に授業で説明するので、半期を通じて実践してほしい。(単位認定要件の一つである)。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション～よい授業とは何か(続)～
- 【第2回】 個人研究発表Ⅱ
個人研究発表Ⅰ後の個人研究の進捗状況を報告する
- 【第3回】 授業分析の方法
逐語記録の読解と授業過程の検討
- 【第4回】 授業記録分析演習1
授業記録を読む
- 【第5回】 授業記録分析演習2
授業記録から考える
- 【第6回】 授業記録分析演習3
授業記録から考え合う
- 【第7回】 模擬授業実践又は教育実習研究授業の分析と検討1(学生A)
- 【第8回】 模擬授業実践又は教育実習研究授業の分析と検討2(学生B)
- 【第9回】 模擬授業実践又は教育実習研究授業の分析と検討3(学生C)
- 【第10回】 模擬授業実践又は教育実習研究授業の分析と検討4(学生D)
- 【第11回】 模擬授業実践又は教育実習研究授業の分析と検討5(学生E)
- 【第12回】 模擬授業実践又は教育実習研究授業の分析と検討6(学生F)
- 【第13回】 個人研究発表Ⅲ
個人研究発表Ⅱ後の個人研究の進捗状況を報告する
- 【第14回】 よい授業とは何か(22年度LMSIによるオンライン授業の予定)
- 【第15回】 教育実践研究の課題と方法